

平成23年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟勤労者総合福祉センター（新潟テルサ）		
管理者名	新潟市開発公社・愛宕共同事業体	指定期間	平成22年4月1日 ～ 平成26年3月31日
担当課	経済・国際部雇用対策課		
所在地	新潟市中央区鐘木185番地18		
根拠法令	なし		
設置条例	新潟勤労者総合福祉センター条例		
施設概要	<p>○敷地面積 31,319㎡ ○建築面積 7,212㎡ ○延床面積 11,729㎡ ○構造・規模 鉄筋コンクリート造、地上4階・地下1階建て ○主な施設内容</p> <p>1階 多目的ホール(3,241㎡ 定員 1,510人) 健康クラブ (1,367㎡ 定員 100人)</p> <p>2階 特別会議室 (158㎡ 定員 62人) 中会議室 (160㎡ 定員 62人) 小会議室1 (55㎡ 定員 20人) 小会議室2 (55㎡ 定員 20人) レストラン (349㎡ 定員 120人)</p> <p>3階 大会議室 (226㎡ 定員 150人) 研修室1 (75㎡ 定員 54人) 研修室2 (82㎡ 定員 54人) 和室1 (15畳 定員 8人) 和室2 (10畳 定員 8人) 和室3 (10畳 定員 8人)</p> <p>屋外駐車場 (15,318.7㎡, 600台)</p>		

施設設置目的
<p>勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進を図るため、新潟勤労者総合福祉センターを設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 新潟勤労者総合福祉センター条例に基づき、勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進に寄与すること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業：市民を対象とした公平かつ平等なホール、会議室の貸館業務の運営 ・健康増進事業：市民の健康増進に関する事業の実施 ・自主事業：市民の教養、文化及び福祉の向上を目的とした催事、研修等の企画、開催 <p>(2) 利用者の視点に立ち、施設が安全、安心、快適に利用できるよう努めること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い安心感の提供、安全確保、快適性に重点を置いた管理運営 ・利用者からの意見、要望を反映させた管理運営 ・法令の遵守(個人情報保護等) <p>(3) 利用者数の増加と稼働率の向上を図るとともに、管理経費の縮減に努めること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業における利用者の増加、稼働率の上昇 ・利用者サービスの向上かつ管理経費の縮減

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・ホームページの充実とアクセス数の増加	ホームページの内容充実 に努めた。 アクセスページ数 ・H22 1,208,542回 ・H23 1,075,626回	B	アクセス数は前年度を下回ったが、空室状況や各イベント情報の迅速な提供に努めたことは評価できる。
	基準利用者数の達成	・年間総利用者数 41万人以上	340,753人	C	東日本大震災の発生による臨時休業及びキャンセルの影響もあり、目標を下回ったが、この結果はやむを得ないと判断する。
	基準稼働率の達成	・ホール稼働率 51%以上 ・会議室稼働率 81%以上	・ホール稼働率 50.7% ・会議室稼働率 71.9%	C	東日本大震災の発生による臨時休業及びキャンセルの影響もあり、目標を下回ったが、この結果はやむを得ないと判断する。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が 80%以上	ホール利用者アンケート 「満足」92%	A	目標を大きく達成した。
	設置目的に合致したサービス提供	1興業 ・開催数 15回以上 ・集客数 19,100人以上 2文化講座 ・開催数 30回以上 ・集客数 550人以上 3人材育成セミナー ・開催数 3回以上 ・集客数 110人以上	1興業 ・開催数8回 ・集客数 10,145人 2文化講座 ・開催数 38回 ・集客数 684人 3人材育成セミナー ・開催数3回 ・集客数 114人	B	興業以外は、全ての項目で目標を達成した。興業については、震災後の混乱により開催を見合わせたこともあり目標達成できなかった。
財 務	利用者1人当たりのコスト削減額	利用者1人あたりコスト500円以下	587円	C	震災の影響もあり、目標を下回ったことは、やむを得ないと判断する。
	管理運営経費の削減	管理運営費を年間200,000千円以下	200,264,775円	C	大雪による除雪経費が増加したため、目標にはわずかに届かなかった。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間98,000千円以上	97,553,623円	C	震災の影響もあり、目標を下回ったことは、やむを得ないと判断する。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書当に定める事項の遵守	業務仕様書等に基づき業務を適切に実施	A	目標を達成した。
	人員計画の合理性・妥当性	サービス水準維持のための人員の適正配置	事業計画書に基づき適正に配置	A	目標を達成した。
	日常連絡・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	月次報告書等各种報告については適切に実施	A	目標を達成した。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災責任者を配置し、防災訓練等の実施	防災責任者の配置訓練は9,3月に2回実施	A	目標を達成した。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生の防止と発生時の体制確保及び訓練の実施	危機管理体制については、事業計画書に基づき適切に実施	A	目標を達成した。
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修の定期的な開催	職場リーダー研修、救命講習等への参加	A	目標を達成した。
	労働基準の充足	関係労働法令の遵守	関係労働法令について遵守	A	目標を達成した。

総 合 評 価 (所 見)	
<p>東日本大震災の発生によりスクリーニング検査会場として3月から引き続き4月7日まで全館休業したことに伴う影響や、その後、特に上半期におけるホールや会議室の利用キャンセルにより、利用者数、稼働率が目標を下回ったことはやむを得ないと判断する。一方、震災の影響により節電対策を実施し、照明の削減や空調管理を徹底したが、利用者アンケートでは92%が満足なサービスと回答したことは大きく評価できる。</p> <p>財務視点の項目では、目標を達成できなかったが、震災や大雪の影響によるものが大きく、やむを得ないと判断する。</p> <p>業務・人材視点の項目では、いずれも適切に実施しており目標を達成している。</p> <p>震災の影響が落ち着いてきてはいるが、北区文化会館や東区プラザなどホールを持つ類似施設が近年オープンしていることもあり、利用者確保は厳しさがあられると思われるもの、今後も引き続き、条例、施行規則、基本協定、年度協定等関係法令に基づき、適切な施設運営及び施設管理に努力されたい。</p>	